

修学旅行に行ってきました！

9月18日(水)～20日(金)にかけて、本校2年生が修学旅行に行ってきました。吉野ヶ里遺跡、大刀洗平和記念館、藤井養蜂場、熊本城、グリーンランド等、子供たちにとっては、その全てが中学校生活の大きな思い出の一つになることでしょう。その中でも私の印象に残った訪問地を2つ紹介します。

一つ目は「熊本地震震災ミュージアムK1OKU」です。この施設は被災した旧東海大学阿蘇キャンパス跡地に作られていました。ガイドをしてくれたのは藤本誠司さん。この大学で理科の先生を育てるために教鞭を執られていた方で、元中学校の先生ということでした。藤本さんは、この震災で一人の教え子を亡くします。将来、中学校の理科の先生になりたいという夢を持ち、熱心で真面目だった生徒だったそうです。「面白い理科の授業をする立派な先生になっていただろうに・・・」とガイドの合間に話をしてくれました。そして、「地震はどこで起こるか分かりません。この施設を訪れる子供たちもどこで地震に遭うかわからない。だから防災の意識を高めてほしいということを伝えていくんです」とおっしゃっていました。被災した辛い経験を糧にして、防災教育に力を入れる姿に感銘を受けました。



【藤本さんの説明を聞く生徒】



【断層を目の前に（奥が被災校舎）】

二つ目は「風の丘 阿蘇 大野勝彦美術館」です。私が修学旅行のコースにぜひ組み込んでほしいと本校職員にお願いした美術館です。この美術館は、作品の鑑賞はもちろんですが、大野さんのお話を聞くことができる美術館です。作品はもとより、このお話が感動するのです。

大野さんは現在80歳。高校卒業後、家業の農業を継ぎます。しかし、45歳の時、農作業中、機械により両腕を切断。背後にはお母様の姿があったといいます。息子の両腕が目の前で切られるという、言葉にならない思い。大野さんはお母様を絶対に笑顔にさせる！そして3人の子ども達、奥様を悲しませない！という想いから入院3日目より残った腕に筆をくり付け、字を描き始めました。そして、詩を書き、そこに水墨画を添えるようになります。大野さんはこれまで多くの詩画集を制作されていますが、その一つ一つの作品には、常に大野さんを支え続けているご家族への感謝の気持ちや人の気持ちの温かさ、身の周りの自然の美しさや身近な幸福であふれています。平成15年、念願であったこの美術館を作り、全国から多くの人が訪れています。大野さんの作品やお話には、生きるとはどういうことか、人の強さとは何か、そういうことを考えさせられる力があります。大野さんのお話を聞く子供たちのまなざしも輝いていました。

多くの見学地に学びの価値がありました。藤本さんや大野さんのような人に子供たちを出会わせることができて本当に良かったと思います。子供たちの学ぶ姿勢も素晴らしかったです。満足して帰路につきました。



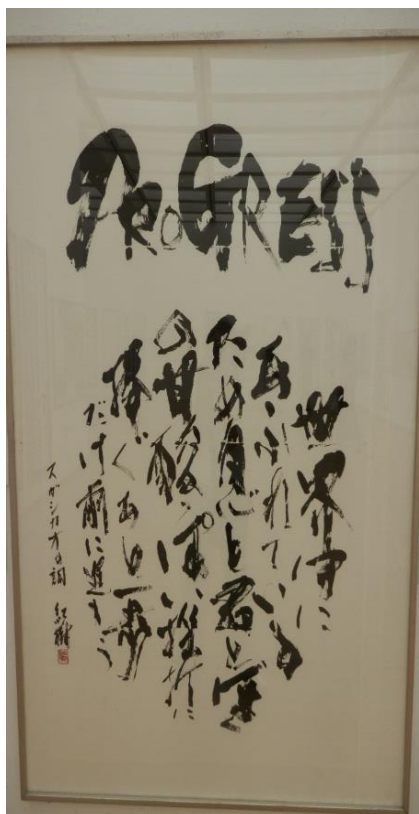
【阿蘇の雄大な自然の中で大野さんの話を聞く生徒と職員】



【即興で書をしたためる大野さんとその作品】



橋本養護教諭 県展入賞！



【受賞作：PROGRESS】

第69回県展において、本校の橋本富美子養護教諭が「書」の部門で見事、吉崎市長賞を受賞しました。題名は「PROGRESS」。進歩、前進という意味です。

この受賞作の原文は、シンガーソングライターのスガシカオさんの楽曲「PROGRESS」の歌詞の一部。この楽曲は、NHKの人気番組「プロフェッショナル仕事の流儀」の主題歌となっているため、みなさんもきっと聞いたことがあるフレーズだと思います。

橋本先生は平成18年度から5年間、本校に勤務したことがあります。本校の宝物「岐中一步前憲章」ができたときのことをよく知っている先生です。（その時代に一緒に勤務していたのが、出口教頭先生、西村先生、降田先生です。）一步前Tシャツの「一步前」の文字。あの文字も橋本先生が書かれたものです。

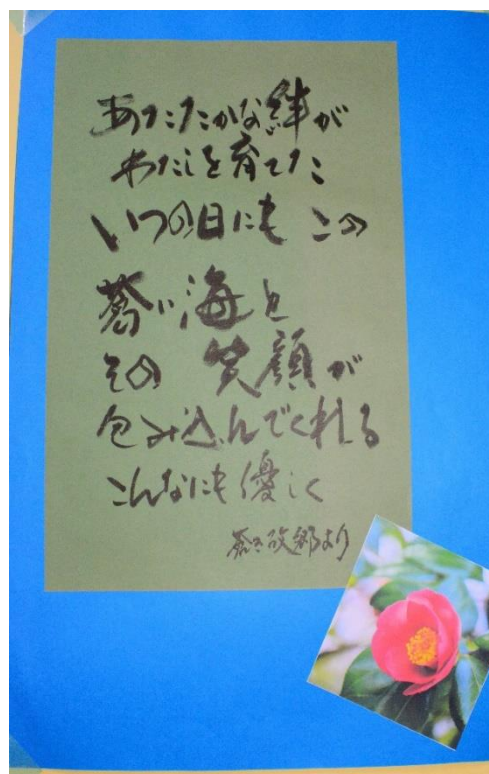
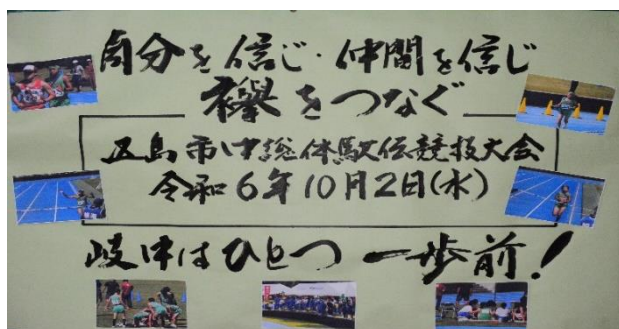
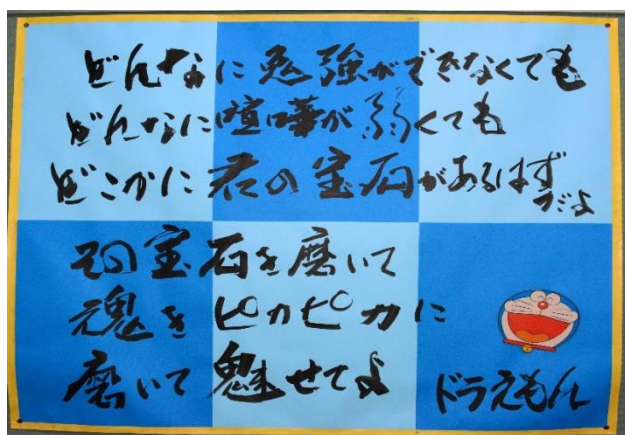
橋本先生は今年の4月に本校に転勤してきたとき、うれしさのあまり涙ぐんでいました。きっと以前勤められたときに、楽しいこと、苦しいこと様々なことをこの学校で経験されたのだと思いますが、その経験が今の自分の礎になっている。私はそんな風に感じ取りました。

そして、岐宿中学校の合言葉「一步前」の精神と合致するものを「書」で表現したいと思っていたところ、この「PROGRESS」という詩にたどり着きます。

「世界中にあらわれているため息と君とぼくの甘酸っぱい挫折に捧ぐ あと一步だけ前に進もう」

まさに、岐宿中学校生徒への応援メッセージです。

もう一つ、保健室の掲示板について紹介します。この掲示板には、つい立ち止まって見てしまう心に残る掲示物が飾られています。生徒も職員もよく見ています。来校の際は、ぜひご覧ください。



【保健室前廊下の掲示物】